

令和4年度 広島県病害虫発生予察情報 予報第1号（果樹）

令和4年5月16日発表（対象期間：令和4年5月16日～6月中旬）

●PCでアクセス

ひろしま病害虫情報

検索



掲載アドレス↓

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/byogaichu/>

●スマホでアクセス

ひろしま病害虫情報
QRコードはこちら →



ホームページ
リニューアル！



お問い合わせ先
広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
〒739-0151 東広島市八本松町原6869
電話：082-420-9662（直通）

※次回の予報発表は令和4年6月中旬ごろです。

1-（1）

かんきつ病害虫の現況と予報（概要）

病害虫名	現況	予報	防除上の注意事項
かいよう病	レモン：西部並 東部多 ネーブル：並	レモン：西部並 東部多 ネーブル：並	●伝染源となる罹病葉，枝は速やかに除去し，ほ場から持ち出します。 ●かいよう病が発生しやすい品種では，5月下旬に銅剤による防除を行います。ただし，樹勢が著しく低下している場合は控えます。
そうか病	並	並	●発病した葉や枝を速やかに除去し，ほ場から持ち出します。 ●発生園では，落花直後の防除を行います。
ミカンハダニ	並	並	●梅雨明け後の多発を予防するため，6月中下旬に高度精製マシン油乳剤を散布します。 ●冬季または春季にマシン油乳剤散布を行っていないほ場，前年発生が多かったほ場では発生に注意します。
ナシマルカイガラムシ イセリヤカイガラムシ	並 (発生なし)	並	●樹幹内部の主枝，側枝にもしっかりと農薬がかかるように散布します。 ●6月中下旬に防除を行います。
ルビーロウムシ ツノロウムシ	並	並	●7月中下旬に防除を行います。
アブラムシ類	並	並	●開花期防除を徹底します。 ●発生が多い場合は，薬剤抵抗性に留意して，追加防除を行います。
黒点病	－	－	●伝染源となる枯枝は速やかに除去し，ほ場から持ち出します。 ●今後の気象予報に注意し，早めに防除を行います。

①かいよう病

現況

レモン：
西部 並
東部 多
ネーブル：並

予報

レモン：
西部 並
東部 多
ネーブル：並

予報の根拠

(+) :多発要因
(±) :平年並
(-) :少発要因

●巡回調査において、レモン新葉での発生は、西部では発生地点率が12.5%、発病葉率0.3%で平年並（±）、東部では発生地点率が25.0%、発病葉率1.0%で多（+）、ネーブルでの発生は、県全域で平年並（±）でした。

●向こう1か月の気温は低い確率が40%（±）、降水量は平年より多い確率が40%です。（+）。

【防除上の注意事項】

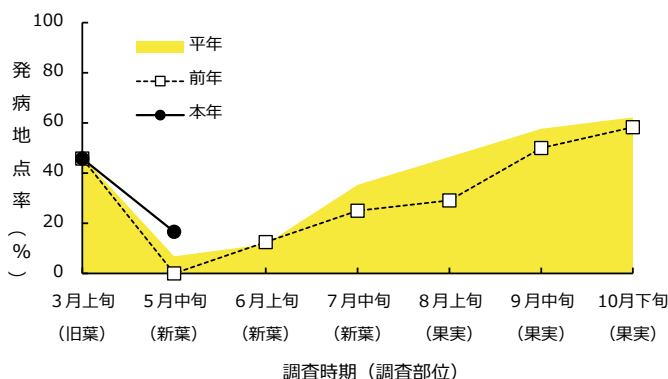
- 伝染源となる発病した葉や枝は樹上から除去し、ほ場外に持ち出します。
- かいよう病が発生しやすい品種は、5月下旬に銅剤による防除を行いますが、寒波被害等により著しく樹勢が低下している場合は散布を控えます。
- 高度精製マシン油乳剤との散布間隔は14日以上あけます。
- マンネブ剤、マンゼブ剤とは混用せず、これらの剤との散布間隔は7日以上あけます。
- 無機銅剤（コサイド剤など）の散布を行う際は、クレフノン（希釈倍数：200倍）を加用します。

罹病葉

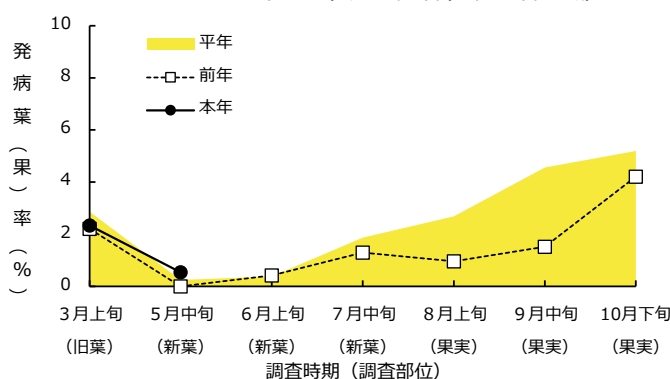


【巡回調査データ】

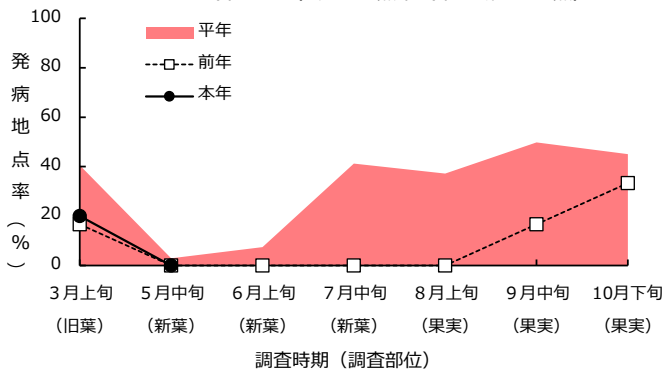
かいよう病（レモン） 発病地点率（県全域 24地点）



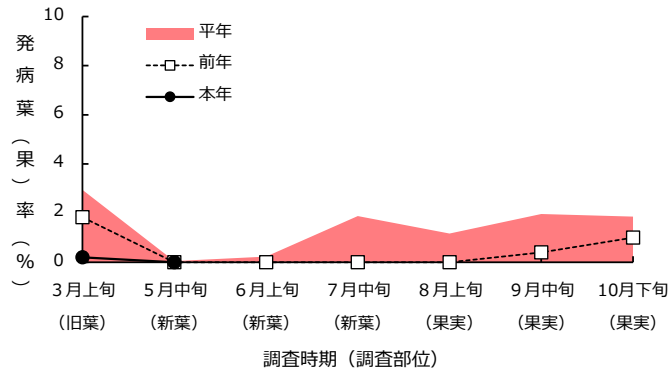
かいよう病（レモン） 発病葉（果）率（県全域）



かいよう病（ネーブル） 発病地点率（県全域 6地点）



かいよう病（ネーブル） 発病葉（果）率（県全域）



予報の根拠

(+) : 多発要因
(±) : 平年並
(-) : 少発要因

- 巡回調査において、ミカンハダニの発生は平年並でした(±)。
- 向こう1か月の気温は低い確率が40%(－)，降水量が多い確率が40%です(－)。



ミカンハダニによる
葉のかすり症状



成虫

卵

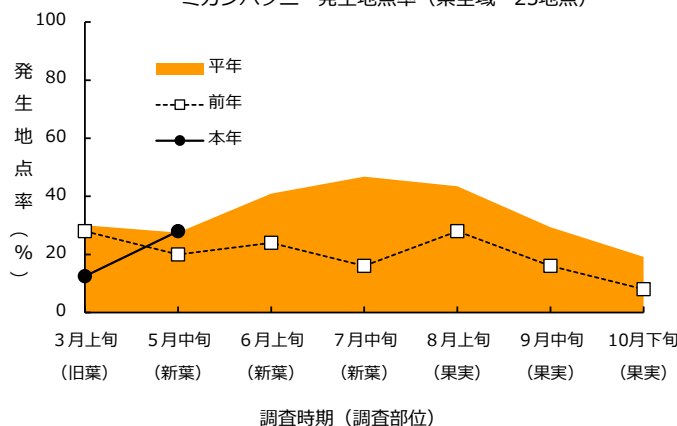
実体顕微鏡の拡大画像

【防除上の注意事項】

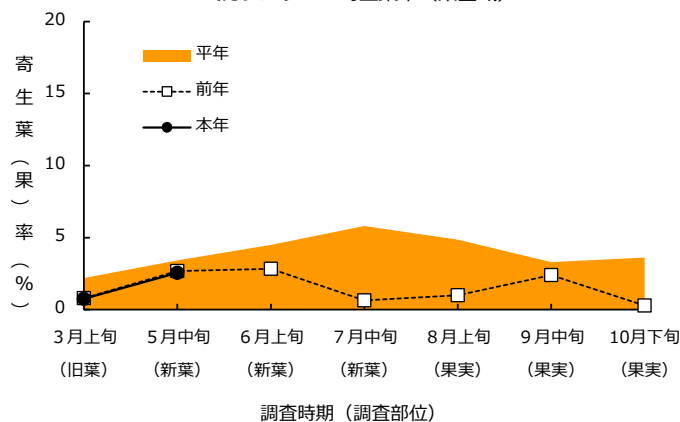
- 梅雨明け後の多発を予防するため、6月中下旬に高度精製マシン油乳剤を散布します。
- 冬季または春季にマシン油乳剤散布を行っていない場合、前年発生が多かった場合は発生に注意します。

【巡回調査データ】

ミカンハダニ 発生地点率 (県全域 25地点)



ミカンハダニ 寄生葉率 (県全域)



③チャノキイロアザミウマ成虫発生予測



果梗部のリング状被害



チャノキイロアザミウマ
(拡大)

- チャノキイロアザミウマは、主に防風樹として利用されているイヌマキやサンゴジュなどが発生源となり、果樹園に飛来します。この虫に果皮を加害されると外観が著しく悪くなります。
- チャノキイロアザミウマは、気温の推移から成虫の発生が多くなる時期(発生ピーク)を予測することが可能です。**防除適期は、発生ピークの7日前からピーク当日**です。

※表1を参考に、発生ピーク予測日に合わせた防除を行います。

表1 チャノキイロアザミウマ成虫発生ピーク予測日

今後の気温	発生ピーク予測日	
	第1世代	第2世代
平年より高い(+1℃)	5月21日	6月16日
平年並	5月22日	6月19日
平年より低い(-1℃)	5月23日	6月23日

※生口島アメダスデータに基づく

①果樹カメムシ類



A : チャバネアオカメムシ

B : ツヤアオカメムシ

C : クサギカメムシ

- 令和3年12月10日～令和4年1月5日に行ったチャバネアオカメムシの越冬量調査の結果、捕獲地点率が5.6%（図1）、1か所当たり虫数は0.06頭（図2）で、過去10年と比較してやや少ない越冬量でした。
- 今後の発生については、フェロモントラップデータが「ひろしま病害虫情報」ホームページからアクセスできますので、防除対策の参考にしてください。

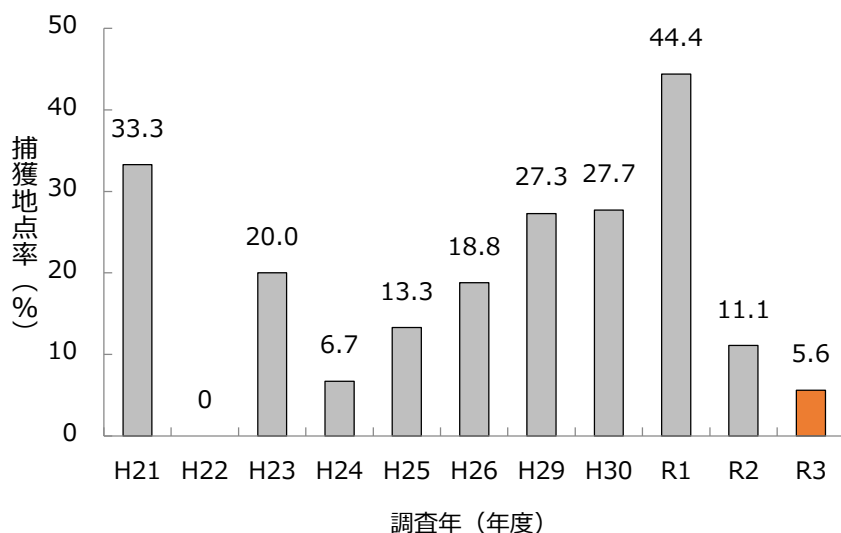


図1. チャバネアオカメムシの捕獲地点率

※H27, H28は調査地点数が少ないためデータから除外しました。

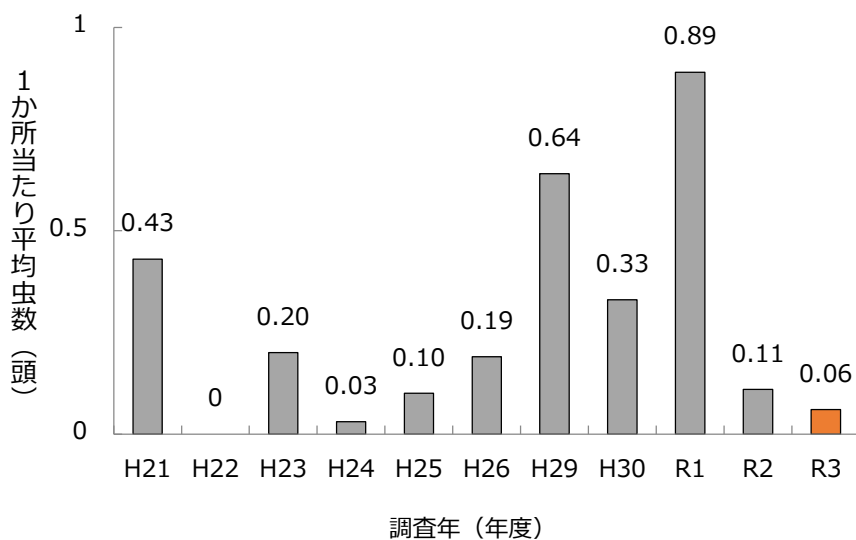


図2. チャバネアオカメムシの1か所当たり平均虫数

※H27, H28は調査地点数が少ないためデータから除外しました。

②モモヒメヨコバイ

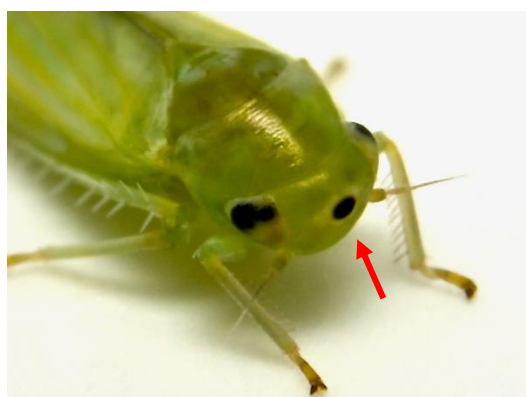
- 令和3年10月広島県南部のモモで発生が確認されたモモヒメヨコバイ（10月13日に特殊報発表）は、2020年から2021年にかけて国内多数の地域で発生が確認されており、一気に蔓延している恐れがあります。
- モモ以外にも、ウメ、スモモ、ナシ、リンゴ、ポプラ等に寄生し、寄生された葉は白くカスリ状になり落葉します。
- 詳しい生態はまだ不明ですが、越冬している可能性が高いので、気温が上がる春からの発生に注意してください。登録農薬はありませんが、慣行防除を徹底することで発生を防ぐことが可能です。



モモヒメヨコバイが寄生したモモ
（令和3年10月撮影）



モモヒメヨコバイの成虫



モモヒメヨコバイの特徴である
複眼の間の黒い点
（農研機構植物防疫研究部門提供）

3

向こう1か月の気象情報

【中国地方1か月予報】

（広島地方気象台5月12日発表、5月14日から6月13日までの天候見通し）

- 天気は数日の周期で変わるでしょう。平均気温は、平年並または低い確率ともに40%です。
- 向こう1か月の平均気温は、低い確率が40%、降水量は、多い確率が40%、日照時間は、低い確率が40%です（図1）。
- 週別の気温は、1週目は低い確率が50%、2週目は平年並の確率が50%、3～4週目は高い確率が40%（図2）です。

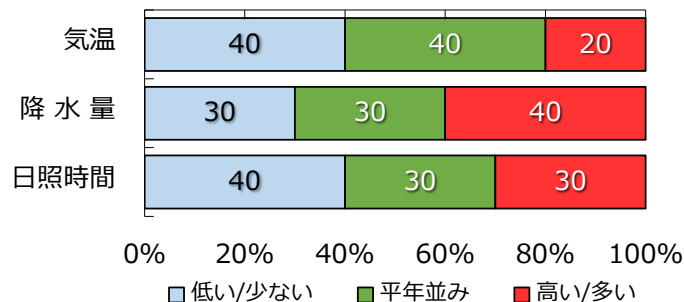


図1. 向こう1か月の平均気温・降水量
・日照時間の各階級の確率（%）

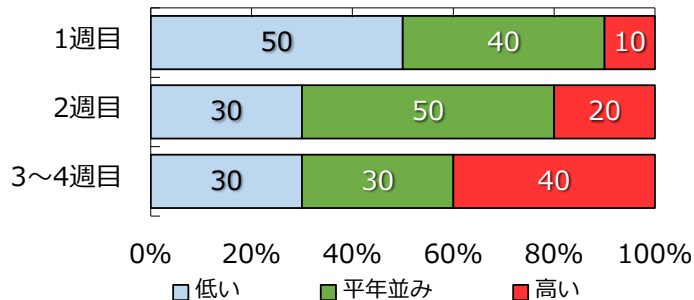


図2. 向こう1か月の気温経過の
各階級の確率（%）

- 広島県では、農薬による危害の未然防止を図るため、6月1日から8月31日までの3ヶ月間を農薬危害防止の重点期間と定め、農薬販売者及び農薬使用者に対する関係法令等の周知や農薬の適正販売、適正使用及び保管管理のさらなる周知・徹底を図ることとしています。
- 令和4年度の農薬危害防止講習会の開催場所および日程が決定しました。
- いずれの会場も、午後1時30分～3時30分に開催いたします。
- なお、新型コロナウイルス感染防止対策のため、予定が変更となる場合があります。

年 月 日	時 間	場 所
令和4年6月7日(火)	午後1時30分～ 午後4時00分	東広島市八本松町原6869 広島県立総合技術研究所農業技術センター 1F講堂
令和4年6月14日(火)		三次市十日市南1-2-18 十日市きんさいセンター 1Fホール
令和4年6月21日(火)		呉市中通1-1-2 呉市きんろうプラザ 3F大ホール
令和4年6月28日(火)		福山市東深津町3-2-13 広島県福山庁舎 第1庁舎 4F141会議室
令和4年7月5日(火)		広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ 2F第一・第二研修室

※受付は、開始30分前からです。

※東広島会場以外、駐車場はありません。

【カンキツの地帯区分について】



西部：竹原市以西の沿岸島しょ部

東部：三原市以东の沿岸島しょ部

【現況・予報の区分について】

「現況」「予報」は、「多、やや多、並、やや少、少」の5階級に区分しています。区分は、原則として過去10年間の同時期の調査結果の数値を発生が多かった順に並べ、相対比較しています。

- 「多」： 1番目（最多年）と同程度以上
- 「やや多」： 2～3番目と同程度
- 「並」： 4～7番目と同程度
- 「やや少」： 8～9番目と同程度
- 「少」： 10番目（最少年）と同程度以下